

FinishPro 390/395 エアレス / エアアシステッドスプレーヤ

333152A

JA

建築塗料およびコーティングの用途向け。
一般目的では使用しないでください。
爆発性雰囲気または危険区域での使用は承認されていません。

最大液体動作圧 : 22.7MPa (227bar, 3300 psi)






最大エア動作圧 : 0.24 MPa(2.4 bar、35 psi)



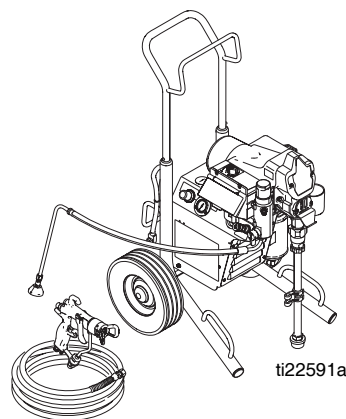
重要な安全情報！

本説明書にある全ての警告と説明を読んでください。
これらの説明を保存してください。

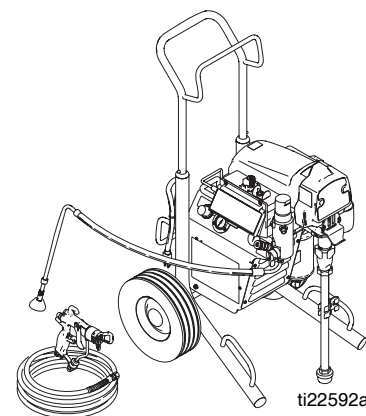
型番：

地域	FinishPro II 395	FinishPro II 595	
米国	24U065	24U073	
欧州 CEE 7/7	24U067	24U075	
欧州マルチコード	24U069	24U077	
英国	24U070	-----	
アジア / オーストラリア	24U071	24U071	

FinishPro II 395



FinishPro II 595



関連マニュアル：

	333120		333182
	309250		333154

目次

目次	2
警告	3
メモ	7
コンポーネント記号	8
コンポーネント記号	9
接地	10
圧力開放手順	11
一般的な修理情報	12
故障対策	13
置換えポンプ交換	18
ドライブハウジング交換	20
スピントテスト (395 のみ)	21
ファンの交換	22
モータブラシの交換	23
(FinishPro II 395 のみ)	23
制御盤交換キット	24
FinishPro II 395 および 595	24
ON/OFF スイッチ交換	25
エアフィルタの取り外し及び設置	26
コンプレッサの交換と修理	27
モータコントロールボードの診断	28
デジタル表示メッセージ:	
FinishPro II 395	29
デジタル表示メッセージ:	
FinishPro II 595	30
圧力制御トランスデューサ	31
ポテンシオメータの圧力	
調整	31
保存されたデータ	32
排液バルブの交換	33
排液ライン取り除き／交換	34
モータの交換	35
FinishPro II 395	35
モーターの交換	36
FinishPro II 595	36
配線図 (395 モデル)	37
配線図 (595 モデル)	38
技術データ	39
Graco Standard Warranty	42

警告

次の警告は、この機器のセットアップ、使用、接地、整備と修理に関するものです。感嘆符のシンボルは一般的な警告を行い、危険シンボルは手順特有の危険性を知らせます。これらのシンボルが、この取扱説明書の本文に表示された場合、戻ってこれらの警告を参照してください。このセクションにおいてカバーされていない製品固有の危険シンボルおよび警告は、必要に応じて、この取扱説明書の本文に表示される場合があります。

警告

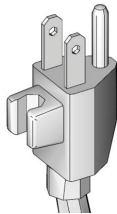


接地

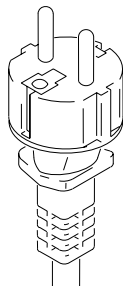
本装置は接地する必要があります。接地とは、電流を逃す配線を設けておくことで、回路短絡が発生した場合の感電の危険性を小さくできます。本製品には、適切な接地プラグの付いた接地線を備えたコードが付属しています。プラグは、各自治体の条例に従って適切に取り付け、接地が行われたアウトレットに接続する必要があります。

- ・ 接地プラグの取り付けが適切でないと、感電の危険が発生します。
- ・ このコード及びプラグの修理及び交換が必要な時は、接地線をどちらの平刃端末にも接続しないでください。
- ・ 設置線は絶縁された電線で、外側の表面が緑色で、黄色の縞が入るものも入らないものもあります。
- ・ 接地の指示が完全に理解されない場合、又は製品が正しく接地されているかどうか疑問のある場合は、資格を持った電気技師あるいは修理員に問い合わせてください。
- ・ 提供されたプラグを改良しないでください。コンセントに嵌らない場合には、資格を持った電気技師によって適正なコンセントを設置してください。
- ・ 本製品は定格 120V または 230 V の回路で使用されるように製造されており、下図のプラグに類似した接地プラグが付属しています。

120V US



230V



- ・ 製品はプラグと同様の構造のコンセントにのみ接続してください。
- ・ アダプタを使用して接続しないでください。

拡張コード：

- ・ 本製品には、3 端子の接地付きプラグと、本製品のプラグと接続できる 3 穴の差し込み口のある 3 線式延長コードのみを使用してください。
- ・ 延長コードが損傷していないか確認してください。延長コードが必要な場合には、製品が必要とする電流を流すことができる、最小 12 AWG (2.5 mm²) のコードを使用してください。
- ・ 規格が下回るコードを使用すると、電圧の低下、電力の損失、過熱の原因となります。

警告



火災と爆発の危険性

作業場での、溶剤や塗料の気体のような、可燃性の気体は、火災や爆発の原因となることがあります。火災と爆発を防止するために：



- ・ 直火あるいは引火の原因となる煙草、モーター、電気器具等の付近では、可燃性のもの、易燃性のものをスプレーしないでください。
- ・ 塗料や溶剤が装置を通ると、静電気が発生する場合があります。塗料や溶剤からの蒸気がある場合、静電気によって火災や爆発が発生する危険があります。静電気放電と火花を防ぐため、ポンプ、ホースアセンブリ、スプレーガン、およびスプレーエリア内やその付近のすべての物体は、適切に接地する必要があります。Graco の導電性、または接地されている高圧エアレス塗料スプレーヤホースを使用してください。
- ・ 静電気放電を防ぐために、すべての容器および回収システムが接地されていることを確認してください。静電気防止または導電性でない限り、ペールライナーは使用しないでください。
- ・ 接地されているコンセントに接続し、接地されている延長コードを使用してください。3 端子を 2 端子に変換するアダプタは使用しないでください。
- ・ ハロゲン化炭化水素を含むペンキおよび溶剤を使用しないでください。
- ・ スプレーする場所では常に換気を行ってください。操作を行う場所では換気を常に良くしてください。ポンプアセンブリは必ず十分に換気された場所に設置してください。ポンプアセンブリに向かってスプレーしないでください。
- ・ スプレーする場所では煙草を吸わないでください。
- ・ スプレーをする場所では、照明スイッチ、エンジン、または同様に火花を発生する製品を操作しないでください。
- ・ スプレーをする場所は清潔に保ち、ペンキや溶剤の容器、ボロ布、その他の可燃性の物を置かないでください。
- ・ スプレーする塗料や溶剤の成分を確認してください。すべての製品安全データシートや塗料、溶剤に付属の容器ラベルをお読みください。塗装剤や溶剤の製造元の安全の手引きに従ってください。
- ・ 消火器具が備えられていて、使用できるようになっている必要があります。
- ・ スプレーヤはスパークを発生させます。可燃性液体を洗浄用に噴霧または使用する場合、スプレーヤを爆発性蒸気から最低 6 m (20 フィート) 離してください。









電気ショックの危険性

この装置は、接地する必要があります。不適切な接地、設置またはシステムの使用により感電する可能性があります。








- ・ 装置の修理を行う前にはメイン電源のスイッチをオフにして電源コードを抜いてください。
- ・ 接地端子付きのコンセントだけを使用してください。
- ・ 3 芯の延長コードだけを使用してください。
- ・ 接地線の先端部が電源コードおよび延長コードに直接導通していることを確認してください。
- ・ 装置は雨にさらさないでください。室内に保管してください。

! 警告

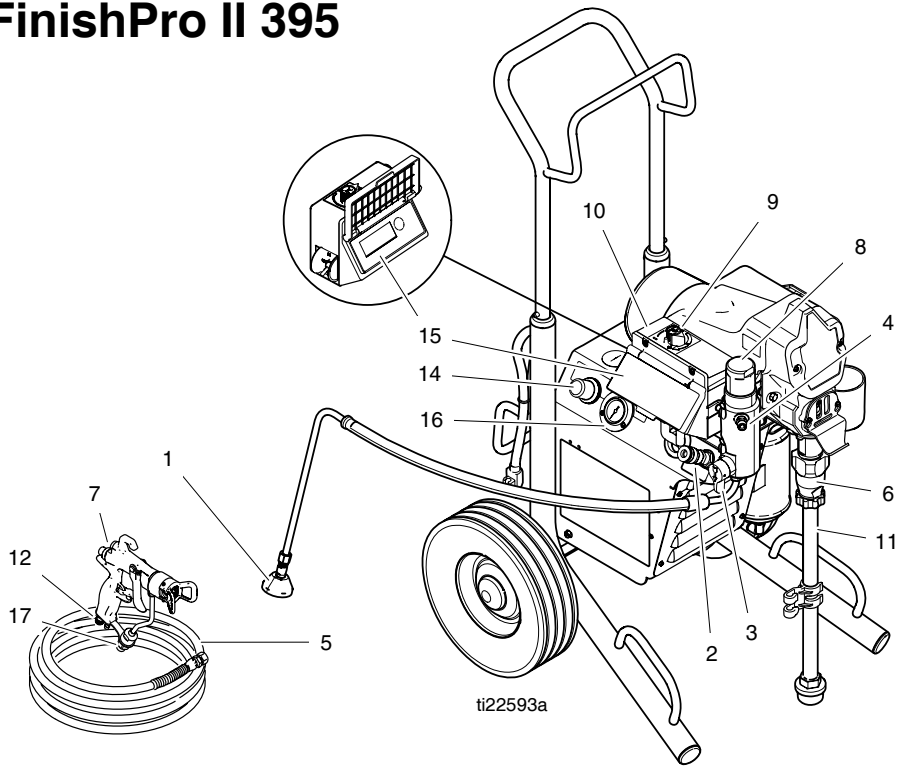
  	<p>高圧噴射による皮膚への危険性 高圧の噴射により、皮下に有害物質が入り込み、重傷となる可能性があります。皮膚への噴射が起こった場合は、直ちに外科的処理を受けてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間もしくは動物に向けてガンやスプレーを発射しないでください。 手やその他の体部位を噴射部分に近づけないでください。例えば、身体のいかなる部分を使って液漏れを止めようとししないでください。 ノズルチップガードを常に使用してください。ノズルチップガードが定位置にない場合は、スプレーを行わないでください。 Graco のノズルチップをご利用ください。 ノズルチップの清掃および交換は注意深く行ってください。ノズルチップがスプレー中に詰まった場合は、ノズルチップを清掃のために取り外す前に、圧力解放に従って、装置の電源をオフにして圧力を解放してください。 装置の電源をオンにしたまま、または加圧中のままで装置を放置しないでください。装置を使用しない場合は、電源を切り、圧力解放に従って、装置の電源をオフにしてください。 ホースと部品に損傷の兆候があるかを確認してください。損傷したホースや部品があれば、交換してください。 このシステムは 22.7 MPa (227 bar、3300 psi) を生成できます。最低 22.7 MPa (227 bar、3300 psi) の定格を持つ Graco 製の交換部品やアクセサリを使用してください。 スプレーを中断するときは、トリガーロックを掛けてください。引き金のロックが正しく機能しているか確認してください。 装置を操作する前に、すべての接続がしっかりしていることを確認してください。 装置を手早く停止する方法、圧力を除去する方法を学んでおいてください。コントロール類をよく知っておいてください。
 	<p>装置誤用の危険性 装置を誤って使用すると、死亡事故または重大な人身事故を招くことがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 塗装中は、常に適切な手袋、目の保護具、呼吸装置、またはマスクを着用してください。 子供が近くにいる場所では操作やスプレーしないでください。装置は常に、子供が触れることのない場所に保管してください。 不安定な場所の上に置いたり、腕を伸ばし過ぎないでください。常にしっかりとした足場を保ち、バランスをとってください。 緊張感を保ち、取りかかっている作業から目を離さないでください。 装置の電源をオンにしたまま、または加圧中のままで装置を放置しないでください。装置を使用しない場合は、電源を切り、圧力解放に従って、装置の電源をオフにしてください。 疲労しているとき、薬物を服用した状態、または飲酒状態で装置を操作しないでください。 ホースをよじれさせたり、曲げ過ぎたりしないでください。 Graco の仕様を超える気温や圧力にホースをさらさないでください。 器具を引っぱたり、持ち上げたりするためにホースに力を加えないでください。 7.6 m (25 フィート) 未満のホースは使用しないでください。 装置を改造しないでください。装置を改造すると、機関の承認を無効にし、安全上の問題が生じる場合があります。 すべての装置が、それらを使用する環境に適した定格を持っており、承認されていること確認してください。
	<p>加圧状態のアルミ合金部品使用の危険性 加圧された装置内でアルミニウムと混合不可能な液体を使用した場合、深刻な化学反応や装置の破裂を引き起こすことがあります。この警告に従わない場合、致死や重傷、物的損害をもたらす可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1,1,1-トリクロロエタン、塩化メチレン、その他のハロゲン化炭化水素系溶剤、またはこれらを含む液体は使用しないでください。 その他の多くの液体も、アルミニウムと反応する可能性のある化学物質を含んでいることがあります。適合性については、原料供給元にお問い合わせください。


警告

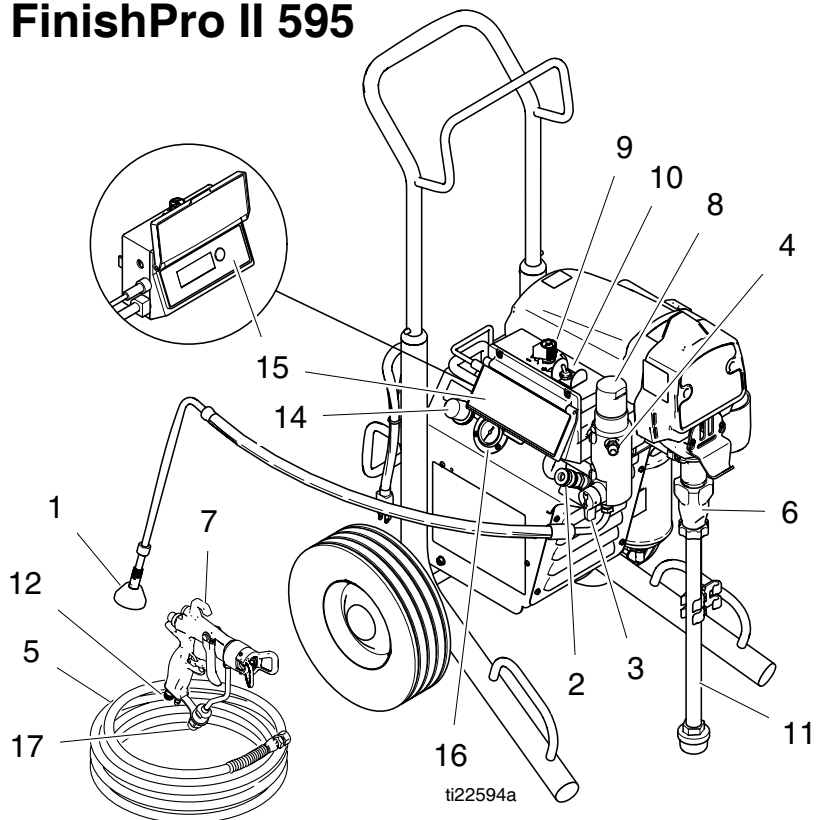
	<p>火傷の危険性 装置表面及び温められた液体は、操作中大変熱くなることがあります。重度の火傷を避けるためには：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 熱い溶液や装置に触らないでください。
 	<p>可動部品の危険性 可動部品は指や身体の一部を挟んだり、切ったり、切断したりする可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 可動部品に近づかないでください。 ・ 保護ガードまたはカバーを外したまま装置を運転しないでください。 ・ 圧力がかかった機器は、警告なしに起動することがあります。装置を点検、移動、または整備する前に、圧力開放に従い、すべての電源の接続を外してください。
	<p>有毒な液体または気体の危険性 有毒な液体や蒸気が目に入ったり皮膚に付着したり、吸込んだり、飲み込んだりすると、重傷を負ったり死亡する恐れがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ MSDS（材料安全データシート）を参照して、使用している液体の危険性について認識してください。 ・ 有毒な液体は保管用として許可された容器に保管し、破棄する際は適用される基準に従ってください。
	<p>作業者の安全保護具 作業場にいる際、目の怪我、難聴、毒性ガスの吸引、および火傷を含む大怪我から自身を守るために、適切な保護具を身につける必要があります。この保護具は以下のものを含みますが、必ずしもこれに限定はされません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保護メガネおよび耳栓。 ・ 液体と溶剤の製造元が推奨する呼吸マスク、保護服、および手袋。
	<p>CALIFORNIA PROPOSITION 65 この製品は、カリフォルニア州において既知の、がん、先天性異常、または他の生殖系障害を引き起こす化学物質を含みます。使用後は手を洗ってください。</p>

コンポーネント記号

FinishPro II 395



FinishPro II 595



コンポーネント記号

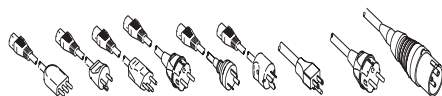
品目	説明
1	ドレンチューブ／ホース
2	エアホースの接続
3	プライム / スプレーバルブ
4	液アウトレット
5	空気／液供給ホース
6	置換ポンプ
7	ガン（取扱説明書を参照）
8	フィルタマニホールド
9	液体圧力コントロール
10	電源 / 機能セレクタ
11	サクシオンチューブ
12	ガン用エアレギュレータ
14	スプレーヤエア圧レギュレータ
15	デジタル表示
16	エア圧ゲージ
17	ガンフィルタ

接地

--	--	--	--	--	--	--

静電気スパークや感電による危険性を抑えるため、装置は必ず接地するようにしてください。電気または静電気によるスパークによって、引火性や爆発性のガスが発生する可能性があります。適切に接地を行わないと、感電をもたらす可能性があります。接地することで、配線を通して電流を逃すことができます。

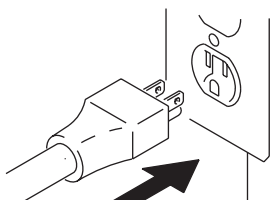
スプレー装置のコードは、適切な接地接点のある 接地ワイヤ付きです。電気コードの接地接触が壊れている場合はスプレーを使用しないこと。



スプレーに必要なもの：

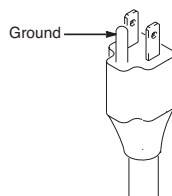
110 ~ 120 Vac スプレー装置：100 ~ 120 VAC、50/60 Hz、15A、1 フェーズ、接地容器付き回路。
230 VAC スプレー装置：230 VAC、50/60 Hz、10A、1 フェーズ、接地容器付き回路。

プラグは、各自治体の条例に従って適切に取り付け、接地が行われたアウトレットに接続する必要があります。



電気コードの接地接触が壊れている場合はスプレーを使用しないこと。接地接触が壊れていない拡張コードのみを使用してください。

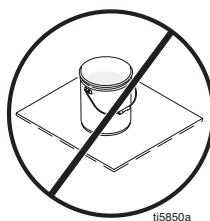
拡張コード



破損のない接地接点付きの拡張コードを使用してください。延長コードが必要な場合は、3 線 2.5 mm² (12 AWG) 以上のコードを使用してください。より長いコードを使用すると、スプレーヤの性能が低下します。

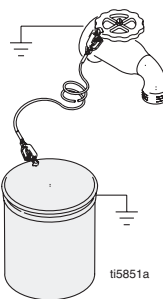
ペール

溶剤とオイルベースの液体： ご使用の地域の法令に従ってください。コンクリートなどの接地済みの場所に置かれた導電性の金属缶のみを使用してください。

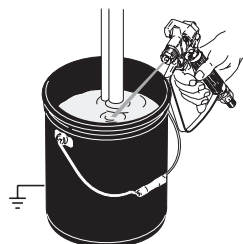


接地の連続性を妨げる紙や段ボールのような導電性でない場所に容器を置かないでください。

金属缶の接地： 一方の端を缶に、他方の端を水道管のような真性接地点にクランプし、接地ワイヤを缶に接続します。



洗浄または圧力開放時に接地の連続性を確保するためには、接地された金属缶に向けてスプレーガンの金属部分をしっかり握ってガンの引き金を引きます。



圧力開放手順

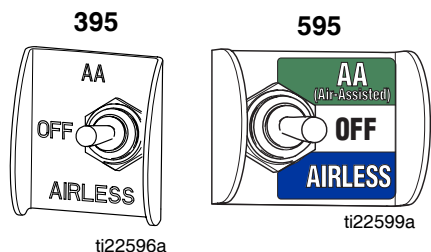


このシンボルが表示されるたびに、圧力開放の手順に従ってください。



本装置は、圧力が手動で開放されるまでは、加圧状態が続きます。皮膚の貫通などの加圧状態の液体、液体の飛散、および可動部品から生じる重大な怪我を避けるには、スプレー停止後と装置を清掃、点検、および整備する前に、圧力開放に従ってください。

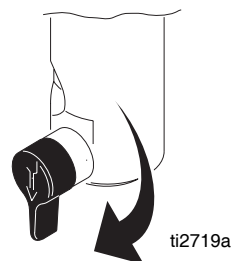
1. 機能選択スイッチをオフにしてスプレーのプラグを外します。



2. 圧力を最低設定にします。
3. ガンを接地された金属製の洗浄缶に対して付けます。ガンの引き金を引いて圧力を開放します。



4. プライムバルブを閉めます。



上記の手順に従った後で、スプレーチップ、ホースの詰まり、圧力の十分な開放について疑問があれば、チップガード保持ナットまたはホース終端カップリングを**非常にゆっくりと**緩めて徐々に減圧を行い、その後完全に緩めます。ホースまたはチップの詰まりを除去します。

5. 引き金をロックします。

一般的な修理情報



熱くむき出しのモータにまかれた可燃性素材は、火災や爆発を起こすことがあります。火傷、火災あるいは爆発の危険性を削減するために、カバーを外したままでスプレ어의操作をしないでください。

- 修理の工程ではネジ、ナット、ワッシャ、ガスケット、電子的付属品は全て外しておくこと。これらの部品には通常は交換キットがあります。
- 問題を修理した後には、修理箇所を試してみてください。スプレー装置が正常に作動しなければ、修理工程を見直して適格に行ったことを確認してください。トラブルシューティング、13 ページを参照してください。
- 空気の通り道に上塗りが溜まるかもしれません。スプレ어의修理をする時はいつでも、包囲された空気の通り道と開口部からあらゆる上塗りと残留物を取り除きます。
- モーター・シュラウドが所定の位置にない場合は、スプレーヤを操作しないでください。損傷がある場合は交換してください。モーターシュラウドは、冷却空気をモーター周囲に向けて過熱を防ぎます。



感電などの重大な人身事故の危険を削減：

- 修理の検査中に、動いている部品または電子部品を指やツールで触らないこと。
- 検査に電気が必要でない場合は、スプレ어의プラグを外します。
- スプレーを操作する前に、全てのカバー、ガスケット、ネジならびにワッシャを設置します。

注

- スプレーを 30 秒以上に渡り作動しないでください。違反するとポンプのパッキングを損傷する可能性があります。
- このスプレ어의内部ドライブ部品を水から保護してください。カバーにある穴は機械系統の部品と内部のエレクトロニクスを空気冷却させます。この穴に水が入ると、スプレーは誤作動あるいは永久的な損傷を受けます。
- 凍結によるポンプの腐食と損傷を防いでください。寒い気候では、絶対にスプレー装置に水または水が混ざった塗料を入れたままにしないこと。凍結する液体は著しくスプレー装置を損傷する可能性があります。保管中のスプレー装置の保護のために、ポンプ外装を付けてスプレーを保管します。
- ガンのエアキャップ上で素材が乾かない様にしてください。スプレ어의仕上がりが不良を招きます。

故障対策



問題	チェック項目 (問題がなければ次のチェックに進む)	処置方法 (問題があれば、この欄を参照)
スプレー装置が動作しない		
基本的な液圧	1. 圧力コントロールノブの設定。モータは最低に設定（時計の針と反対方向）されていると動きません。	モータが始動するかを圧力設定を少しずつ加えて確認します。
	2. スプレーのチップまたは液体フィルタが詰まっているかもしれません。	圧力開放 （11 ページ）を実行します。次に詰まりを除去し、ガンフィルターを清掃します。ガンの取扱説明書を参照してください。
基本的な技術	1. ポンプの凍結または固まった塗料。	水または水が混ざった塗料がスプレー内で凍結したら、スプレーをときます。スプレーを暖かい所に置いてときます。完全にとけるまでは、スプレーの使用は開始しないこと。塗料がスプレー内で固まった（乾燥）した場合は、ポンプのパッキングを交換します。18 ページ、 置換えポンプ交換 を参照してください。
	2. 置換えポンプの接続ロッドピン。ピンは完全に接続ロッドに押し込み、保持スプリングは溝またはポンプピンへ確実に入っていること。	ピンを固定位置に押し込み、スプリング保持で確実に止めます。18 ページ、 置換えポンプ交換 を参照してください。
	3. モータ。ドライブハウジング組立てを取り除きます。20 ページ、 ドライブハウジング交換 を参照してください。	ファンが回らなければモータを交換します。35 ページ、 モータの交換 を参照してください。
基本的なエア圧	1. 電源 / 機能のセレクト。	選択が AA である事を確認します。
	2. スプレー装置のエア圧レギュレータが閉じている可能性。	エアレギュレータを引いてロックを外し、時計まわりに回して開きます。
	3. ガンの部分のエアバルブが閉じている可能性。	エアレギュレータを時計回りと反対に回して開きます。

問題	チェック項目 (問題がなければ次のチェックに進む)	処置方法 (問題があれば、この欄を参照)
基本的な電気系統 配線図を参照してください。 36 ページを参照のこと	1. 電力供給。メーターは 110 ~ 130 VAC の型番では 105-120 VAC 、また 230 VAC の型番では 210-255 VAC を示す必要があります。	ビルディング回路ブレーカーを再設定し、ビルディング・ヒューズを交換します。別のコンセントを使用します。
	2. 拡張コード。ボルト・メーターで拡張コードの連続性を確認します。	延長コードを交換してください。もっと短い延長コードを使用してください。
	3. スプレーの電力供給コード。絶縁またはワイヤなどの損傷が無いか確認します。	電力供給コードの交換。25 ページ、 電源コード交換 を参照してください。
	4. モータのリード線はしっかりと締められ適格にコントロールボードに接続されています。	緩いターミナルを交換：リード線を阻む。ターミナルが固く接続されていることを確認してください。 回路板のターミナルを拭きます。リード線を再びしっかりと接続します。
	5. モータ温度スイッチ。黄色のモータのリード線は温度スイッチを介して接続している必要があります。	モータを交換します。35 ページ、 モータ交換 を参照してください。
	6. ブラシキャップが無いか、ブラシのリード線の接続が緩んでいます (FinishPro II 395 のみ)。	リード線が損傷を受けている場合は、ブラシキャップを取り付けるかブラシを交換します。23 ページ、 モータブラシの交換 を参照してください。
	7. ブラシの長さは最低 1/4 インチ (約 6mm) であること (FinishPro II 395 のみ)。 注：ブラシはモータの両側で同じ速度で磨耗しません。双方のブラシを点検してください。	ブラシを交換します。23 ページ、 モータブラシの交換 を参照してください。
	8. 焼けた点、ゲージと極端な荒い表面には、モータ電機子電流転換器を用品います。	モータを取り外します。可能な場合、モータ取扱店で整流子表面を付け替えてください。35 ページ、 モータ交換 を参照してください。
	9. 電機子テスター (グラウラー) を使った短絡用のモータ電機子の適用またはスピン試験を行います。21 ページを参照してください。	モータを交換します。35 ページ、 モータ交換 を参照してください。
	10. 圧力制御がコントロールボードに差し込まれていません。	圧力コントロールコネクタをコントロールボードに挿入します。

問題	チェック項目 (問題がなければ次のチェックに進む)	処置方法 (問題があれば、この欄を参照)
液体出力の低下	1. 磨耗したスプレーチップ。	11 ページ、圧力開放手順を参照してください。チップを交換します。ガン取扱説明書 311937 を参照してください。
	2. ガン・トリガが離れている時にポンプが打ち続けられないことを確認します。	ポンプを修理します。18 ページ、置換えポンプ交換を参照してください。
	3. プライムバルブに漏れがあります。	11 ページ、圧力開放手順を参照してください。続いてプライムバルブを修理します。31 ページ、圧力制御の交換を参照してください。
	4. 吸引ホースの接続。	いかなる緩んだ接続も締めます。吸引ホースのスイベルにある O リングをチェックします。
	5. ボルト・メーターでの電力供給。メーターの表示：110-120VAC の型番では 105-130 VAC で、240VAC の型番では 210-255 VAC です。低い電圧ではスプレーの機能が落ちます。	ビルディング回路ブレーカーを再設定し、ビルディング・ヒューズを交換します。電気コンセントを修理するか別のコンセントを使用します。
	6. 延長コードのサイズと長さ。	正しい接地された拡張コードと交換します。10 ページ、接地と電気的な条件を参照してください。
	7. 損傷したあるいは緩いワイヤ・コネクタのために、リード線をモーターから回路ボードに引きます。ワイヤの絶縁ならびにターミナルが過熱していないか調べます。	雄ターミナルのピンは中央にあり、雌ターミナルに強く接続されていること。いかなる緩いターミナルまたは損傷したワイヤも交換します。ターミナルをしっかりと再度接続します。
	8. 磨耗されたモータブラシは最低 6mm (1/4 インチ) であること。	ブラシを交換します。23 ページ、モータブラシ交換を参照してください。
	9. モータブラシがブラシホルダーで縛られています。	ブラシホルダーを清掃します。ブラシのほこりを吹き出す圧縮空気を用いて、炭素ダストを取り除きます。
	10. 小さい区画での低い圧力。圧力コントロールノブを時計の針が回る方向に十分回します。	圧力コントロールアセンブリを交換します。31 ページ、圧力制御アセンブリの交換を参照してください。
	11. 電機子テスター（グラウラー）を使った短絡用のモータ電機子の適用またはスピン試験を行います。21 ページを参照してください。	モータを交換します。35 ページ、モータ交換を参照してください。

問題	チェック項目 (問題がなければ次のチェックに進む)	処置方法 (問題があれば、この欄を参照)
モータが作動しポンプが打ちます	1. プライムバルブが開いています。	プライムバルブを閉めます。
	2. 塗料の供給。	リプライム・ポンプを再び満たします。
	3. 取り入れストレーナが詰まっています。	取り外し拭いて再び設置します。
	4. 吸引ホースから空気が漏れています。	ナットを締めます。スィベルのOリングをチェックします。
	5. 取り入れバルブボールとピストンボールが適格に配置されています。	ポンプ取扱説明書 309250 を参照してください。塗料は使用する前にこして、ポンプを詰まらせる粒子を取り除きます。
	6. スロート・パッキングナットの周りでの漏れは磨耗または損傷したパッキングを意味します。	ポンプ説明書 309250 を参照してください。
	7. ポンプロッドが損傷しています。	ポンプ説明書 309250 を参照してください。
モータは作動しますがポンプが打ちません	1. 置換えポンプピンが損傷しているか紛失している状態です。	ポンプピンが紛失していたらポンプピンの交換をします。保持スプリングの全体が接続ロッドの溝にはまるようにしてください。18 ページ、置換えポンプ交換を参照してください。
	2. ロッドアセンブリを損傷のために接続します。	接続ロッドアセンブリを交換します。18 ページ、置換えポンプ交換を参照してください。
	3. ギアまたはドライブハウジング。	ドライブハウジング組立てとギアに損傷が無いが確認します。必要であれば交換します。20 ページ、ドライブハウジング交換を参照してください。
モータは熱い状態で断続的に作動します	1. スプレーがある場所での周囲の温度が 46°C (115°F) を超えず、スプレーが直射日光に当たっていないこと。	可能であればスプレーを日陰で涼しい場所に移動します。
	2. プラス (赤い) ブラシを取り除くと、モータに焼けた巻き込みがあるのが分かり焼けた隣にあるコンピューターバーが見えます。	モータを交換します。35 ページ、モータ交換を参照してください。
	3. ポンプパッキングナットの締め具合。締め過ぎるとロッドのパッキングを締め、ポンプの動きを制限しパッキングを損傷します。	パッキングナットを緩めます。スロートの部分に漏れが無いかを調べます。必要であればポンプパッキングを交換します。ポンプ取扱説明書 309250 を参照してください。
ガンの低いエア出力	1. ガンの部分のエアバルブが閉じている可能性。	エアバルブを反時計回りに回して開けてください。
	2. スプレー装置のエアレギュレータが閉じている可能性 (FinishPro 395)。	引いてロックを外し、エアレギュレータを時計回りに回して開けてください。
	3. エアの接続がゆるい可能性。	エア漏れに関して、全ての接続を点検してください。
ガンの低いエア出力	4. エアサプライホースが破損 (漏れ) している場合。	エアサプライホースを交換してください。
	5. 吸気フィルタの詰まり。	吸気フィルタの清掃あるいは交換を行ってください。
	6. メカニカルエアアンローダが開いたまま固定。	メカニカルエアアンローダを交換します。
	7. 電気エアアンローダが開いたまま固定。	電気エアアンローダを交換してください。

問題	チェック項目 (問題がなければ次のチェックに進む)	処置方法 (問題があれば、この欄を参照)
エアコンプレッサが作動しない	1. 電源 / 機能のセレクタ・スイッチ。	機能セレクタ・スイッチを AA にしてください；スイッチを交換しています。
	2. コンプレッサへの電圧は 110 - 120 VAC 型番では 105VAC 以下で、240 VAC 型番では 210 VAC 以下です。	別のコンセントを使ってみてください。延長コードの長さを短くするか、延長コードのゲージを上げてください。
	3. 緩んでいる電源接続。	すべてがしっかりと接続している事を確認します。
	4. 先端での過度の圧力（コンプレッサの唸り）。	エアサプライラインでの水分の凍結。
	5. 先端での過度の圧力（コンプレッサの唸り）。	エア圧が排出によりゼロに下がるのを待ってください。
	6. 先端での過度の圧力（コンプレッサの唸り）。	電気エアアンローダが閉じたままの固定。電気エアアンローダを交換してください。
	7. 先端での過度の圧力（コンプレッサの唸り）。	エアレギュレータを開けてください。エアラインを設置してください。取り扱い説明書 311905 の Startup を行ってください。
	8. コンプレッサの温度スイッチが開になっている。周辺の気温が 46°C (115 °F) 以下である事を確認してください。	可能であればスプレー装置を日陰で涼しい場所に移動します。
	9. コンプレッサの動作の不良。	磨耗したコンプレッサ。コンプレッサ整備キット 288723 を使用してコンプレッサを修理してください
エアスプレーパターン不良	1. エアキャップのエア口の詰まり。	溶剤に漬けて清掃してください。
	2. 磨耗したエアキャップ。	エアキャップを交換します。
	3. 磨耗したスプレーチップ。	圧力開放 (11 ページ) を実行します。チップを交換します。ガンの取扱説明書を参照してください。
パターン内の水	1. エアラインの水	水セパレータキット 289535 をエアラインおよびインライン水フィルタキット 24U981 (5 パック)、24U982 (25 パック) に追加します。
ガンの引き金を引かないと圧縮機が止まらない。	1. エアラインに漏れがある。	エア接続を確認します。漏れがないことを確認します。
	2. 圧力スイッチが磨耗している。	圧力スイッチを交換します。
	3. 圧力開放バルブが磨耗している。	圧力開放バルブを交換します。

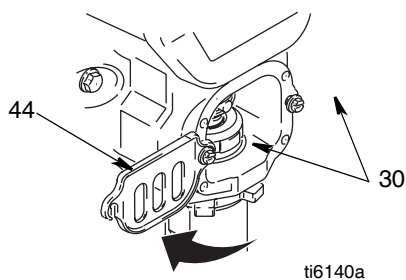
置換えポンプ交換

ポンプ修理説明に関しては取扱説明書 309250 を参照してください。

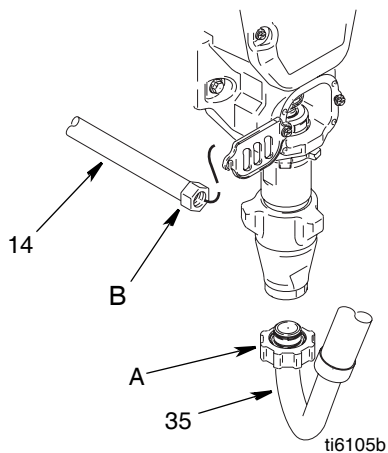
取り外し



1. 圧力解放手順、11 ページを参照してください。コンセントからスプレーを取り外します。
2. ネジ (30) 2 本を緩めて、カバー (44) を回します。

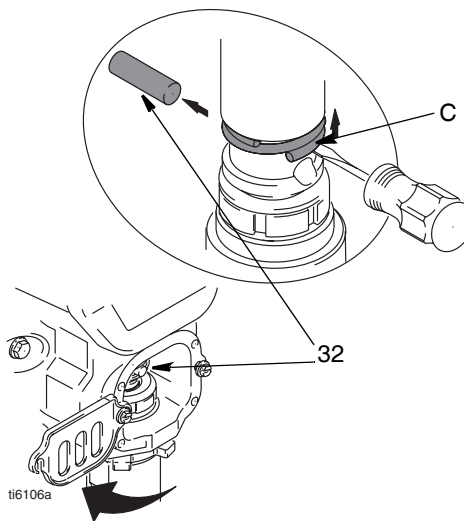


3. ナット (A) を緩めて吸引ホース (35) を取り外します。ナット (B) を緩めて高圧ホース (14) を取り外します。

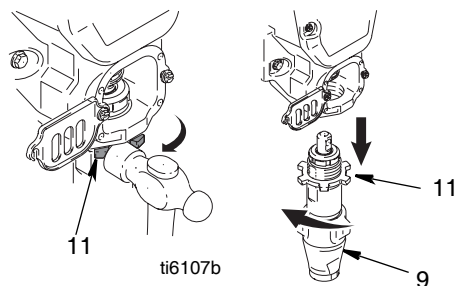


4. ポンプピン (32) が取り除かれる位置に来るまでポンプを回します。
5. コンセントから電源コードを切断します。



6. 平らなスクレイドライバを使用して保持スプリング (C) を押し上げます。ポンプピン (32) を押し出します。



7. ハンマーを使いポンプ差し込みナット (11) を緩めます。ネジを外してポンプ (9) を外します。



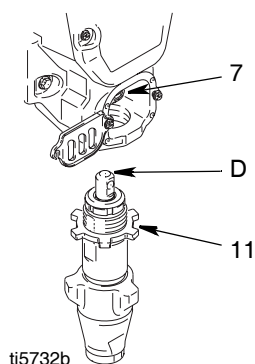
設置

					
<p>ポンプピンが緩んでいる場合、ポンプの動きにより部品が破損する可能性があります。部品が空気中に飛び出すこともあり、人身事故や物損事故を招く恐れがあります。ピンをコネクティングロッドに完全に押し込み、固定スプリングをポンプピン上の溝にしっかりと配置する必要があります。</p>					

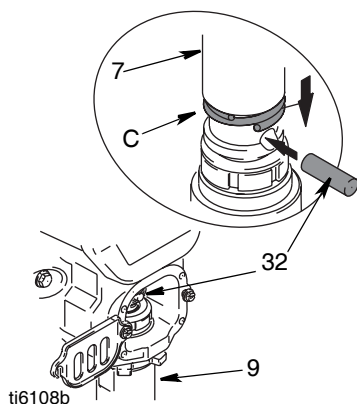
注

運転中ポンプの差し込みナットが緩むと、ドライブハウジングのスレッドが損傷します。

1. ポンプピストンロッドをいっぱいに伸ばします。ポンプロッドの上 (D) または接続ロッド (7) の中にグリスを付けます。差し込みナット (11) をポンプのネジ山に設置します。

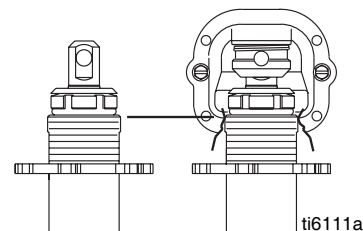


2. ポンプロッド (D) を接続ロッド (7) に取り付けます。
3. ポンプピン (32) を付けます。保持スプリング (C) がポンプピンに溝に入っていることを確認します。

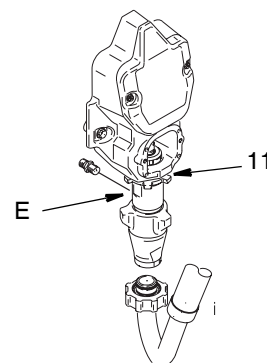


4. ポンプ (9) を押し上げて、ポンプのネジ山を合わせます。

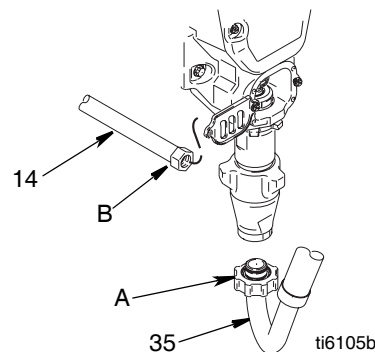
5. ネジ山がドライブハウジング開口部の上に接触するまでポンプをネジ込みます。ポンプの出口を後ろに合わせます。



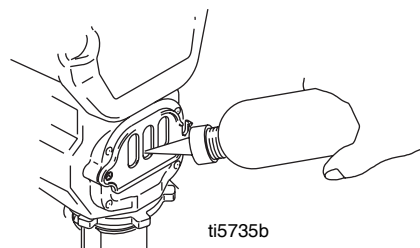
6. ポンプの出口 (E) を後ろに付けます。



7. ナット (11) が回らなくなるまで、ポンプの差し込みナットをネジで締めます。手で差し込みナットを締め、20 oz (最高) ハンマー を使用して約 75 フィート-ポンド (102 N•m) のトルクで叩き、1/8 から 1/4 回転させます。
8. 吸引チューブ (35) と高圧ホース (14) を設置します。ナット (A) と (B) を締めます。



9. 液体がシールから溢れるまでパッキンナットに Graco TSL を注入します。カバー (44) を回します。ネジ (30) を締めます。

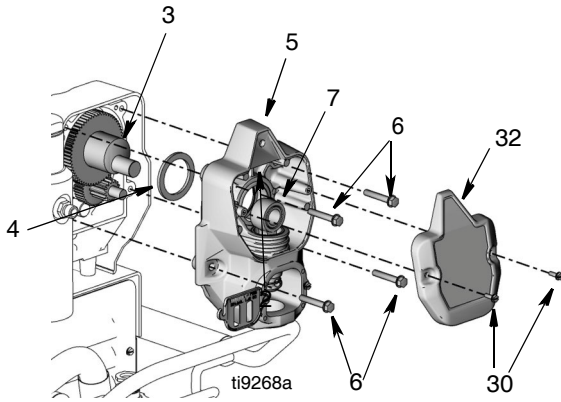


ドライブハウジング交換



取り外し

1. 圧力開放手順。11 ページを参照してください。
2. ポンプ (9) を外します。**置換えポンプ交換**、18 ページを参照してください。
3. コンセントから電源コードを切断します。



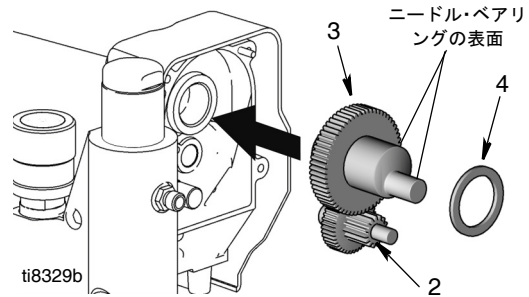
4. 2 本のネジ (30) およびカバー (32) を取り外します。
5. 4 本のネジ (6) を取り外します。
6. ドライブハウジング (5) をモータ前面終端ベルから引き出します。
7. ドライブハウジングからギヤクラスタ (2) と (3) ならびにスラストベアリング (4) を取り除きます。

注

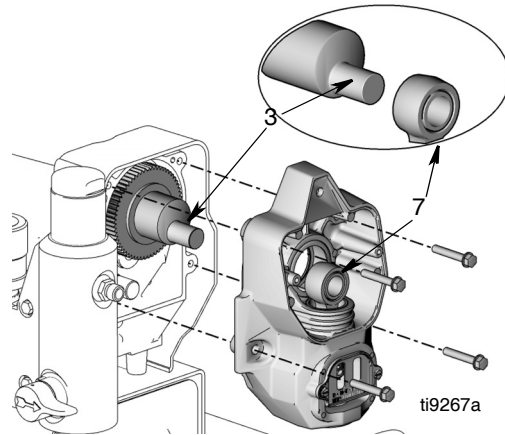
ドライブハウジング (5) 取り外し中にギヤクラスタ (3) と (2) を落とさないでください。ギヤクラスタはモータ前面終端ベルまたはドライブハウジングに取り付けられた状態で問題はありません。

設置

1. 適当な量のグリースをギヤとニードル・ベアリングの表面に付けます。スラストベアリング (4) とギヤ (2) と (3) を前面終端ベルハウジングに取り付けます。



2. ギヤクラク (3) を接続ロッド (7) のホールを通して挿入します。ドライブハウジングをモータの前面終端ベルに押し込みます。



3. 4 本のネジ (6) を取り付けます。
4. 2 本のネジ (30) でカバー (32) を取り付けます。
5. ポンプ (9) を設置します。**置換えポンプ交換**、18 ページを参照してください。

スピンテスト (395 のみ)

配線図、36 ページを参照して下さい。



モータ電機子、巻き込み、ブラシでの電気的連続性を調べます：

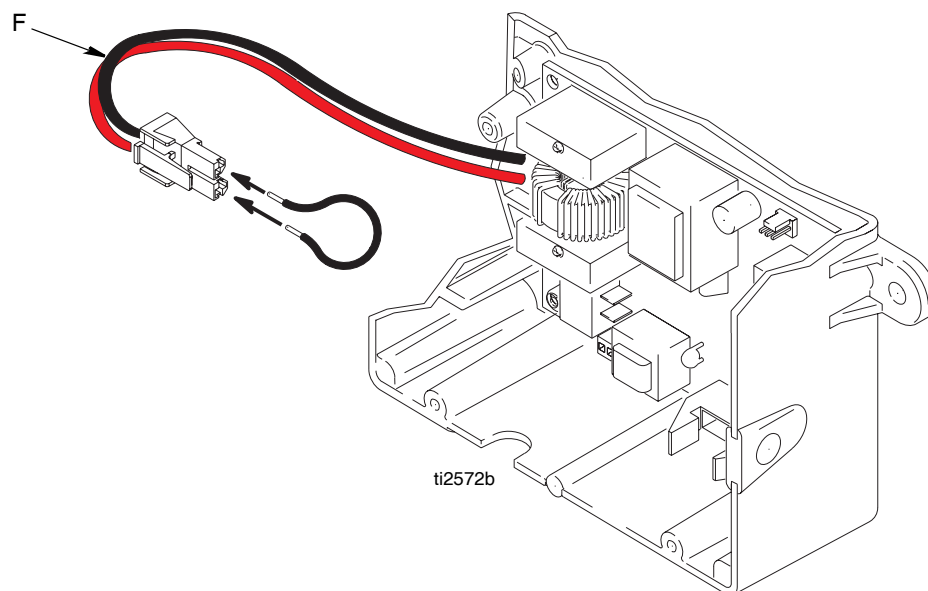
1. **圧力開放手順**、11 ページを参照してください。電源コードをコンセントから抜きます。
2. 2本のネジ (30) およびシュラウド (29) を取り外します。
3. ドライブハウジング (5) を取り外します。20 ページを参照してください。
4. モータ・コネクタ (F) を外します。

電機子短絡回路の検査

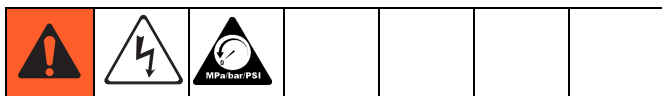
手でモータのファンを素早く回します。モータが完全に止まるまで2回から3回惰性で回転する場合は、電気の短絡はありません。モータが自由にスピンしなければ、電機子が短絡しています。モータの交換、35 ページを参照してください。

電機子、ブラシとモータ配線オープン回路検査 (連続性)

1. 赤と黒のモータのリード線を試験用のリード線と繋ぎます。モータのファンを手で1秒に約2回転させます。
2. 均一でないあるいは抵抗が無ければ、ブラシキャップの紛失、ブラシ・スプリングの損傷、ブラシのリード線、ブラシが磨耗していないか調べます。必要に応じて修理します。23 ページを参照してください。
3. まだ均一でないあるいは抵抗が無ければ、モータを交換します。35 ページを参照してください。
4. モータ・コネクタ (F) を再度付けます。
5. ドライブハウジングを交換します。20 ページを参照のこと。
6. シュラウド (29) と2本のネジ (30) を交換します。



ファンの交換

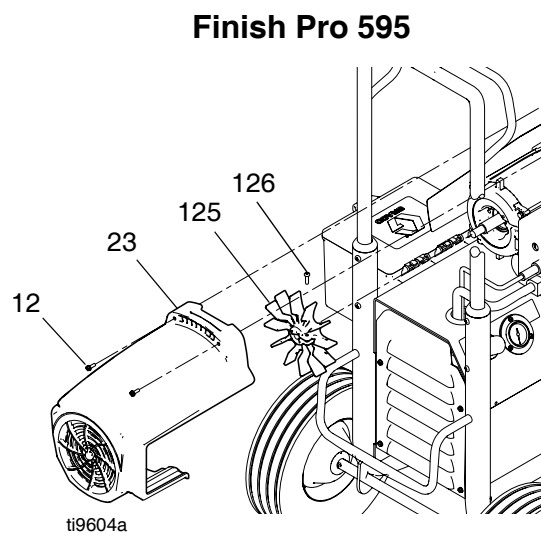
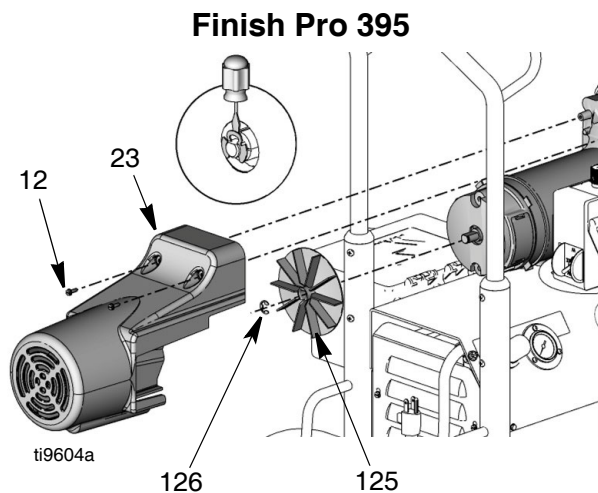


取り外し

1. 圧力開放手順、11 ページを参照してください。電源コードをコンセントから抜きます。
2. 本のネジ (30) およびシュラウド (29) を取り外します。
3. ファン (125) の保持コンポーネント (126) を取り除きます。
4. ファン (100) を引き離します。

設置

1. 新しいファン (1a) をモータの後ろに取り付けます。ファンの刃を提示されているようにモータに向けること。
2. 保持コンポーネント (126) を取り付けます。
3. シュラウド (29) と 2 本のネジ (30) を交換します。



モータブラシの交換

(FinishPro II 395 のみ)

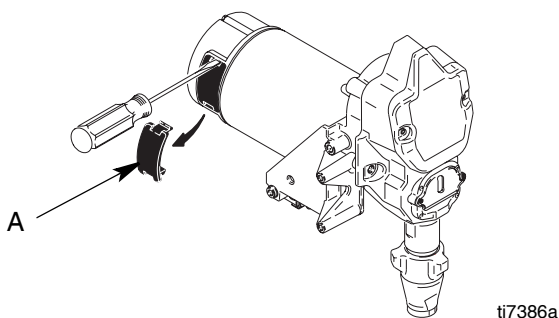
取り外し

1/2 インチ (約 12.5mm) 未満に磨耗したブラシを交換します。ブラシはモータの各面で磨耗の程度が異なります。ブラシ修理キット 287735 をご利用頂けます。

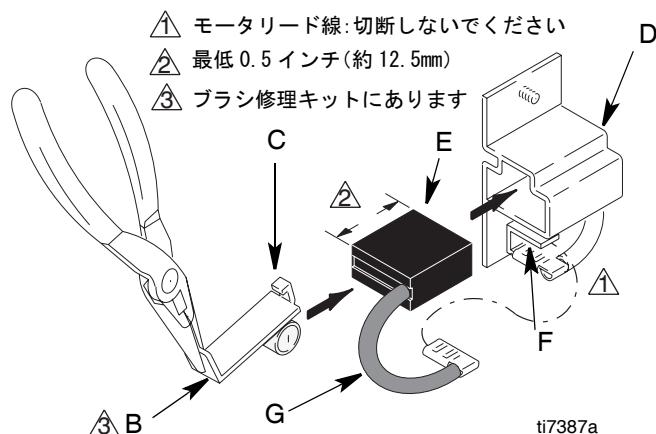
- 一般的な修理情報、12 ページを読んでください。



- 電源を切断します。
- 圧力開放手順、11 ページを参照してください。
- モータのシュラウドと 2 つのカバー (A) を外します。



- クリップスプリング (B) を押してフック (C) をブラシホルダー (D) から外します。スプリング・クリップ (B) を引き出します。
- ブラシ・リード線 (E) をターミナル (F) から引き離します。ブラシ (G) を外します。



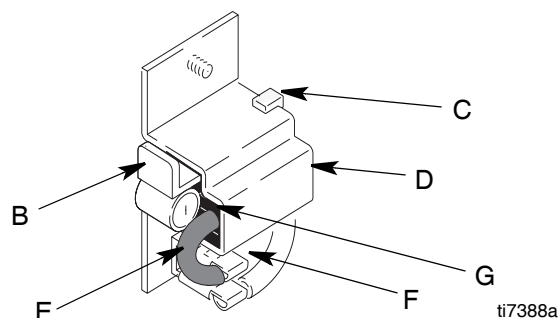
- 整流子に過度のピッチング、バーニングまたはガウジングがないか検査します。整流子が黒色を呈していても正常です。ブラシの磨耗が速過ぎる場合は、正規のモータ修理店に整流子の取り替えを行わせるようにしてください。

333152A

設置

注

ブラシを設置する時は、全ステップを注意深く行い部品の損傷を防ぎます。



- 新しいブラシ (G) をリード線でブラシホルダー (D) に設置します。
- ブラシ・リード線 (E) をターミナル (F) に滑り込ませます。
- スプリング・クリップ (B) を付けます。フック (C) をブラシホルダー (D) に押し込んで設置します。
- 別の面も同様に行います。
- 検査ブラシ。
 - ポンプを外します。置換えポンプ交換、18 ページを参照してください。
 - スプレーがオフの状態、圧力コントロールノブを時計の針が回る方向と反対に最低の圧力まで回します。スプレーをコンセントに差し込みます。
 - スプレーをオンにします。モータが全速力で作動するまでゆっくりと圧力を加えます。

注

ブラシを調べるために 30 秒以上に渡りスプレーを空の状態で作動しないでください。置換えポンプパッキングの損傷を防ぐためです。

- ブラシ検査カバー (A) とガスケットを取り付けます。
- ブラシの破損。
 - 負担無し状態で、1 時間スプレーを作動。
 - ポンプを設置します。置換えポンプ交換、18 ページを参照してください。

制御盤交換キット

FinishPro II 395 および 595

配線図を参照してください。36 ページを参照のこと。



取り外し

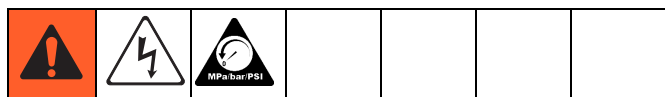
1. 圧力開放手順、7 ページを参照してください。電源コードをコンセントから抜きます。
2. ネジ (12) 4 本およびカバー (50) を取り外します。
3. モータコントロールボードのリード線全てを切断します (49)。
4. ネジ (6) とモータコントロールボードを取り外します。

設置

1. モータコントロールボード (49) の後部にあるパッドを拭きます。パッドに少量の保温性化合物を付けます。
2. ネジ (6) でモータコントロールボードを取り付けます。
3. モータコントロールボードのリード線全てを接続します。
4. 束ねられていないワイヤを束ねて結び、誘導原コイルに接触するワイヤが無い状態にします。
5. カバー (50) をネジ (6) 4 本で設置します。

ON/OFF スイッチ交換

配線図、37 ページを参照してください。



取り外し

1. 電源を切断します。
2. 圧力開放手順、11 ページを参照してください。
3. 4本のネジ (12) と圧力コントロールカバー (50) を取り外します。

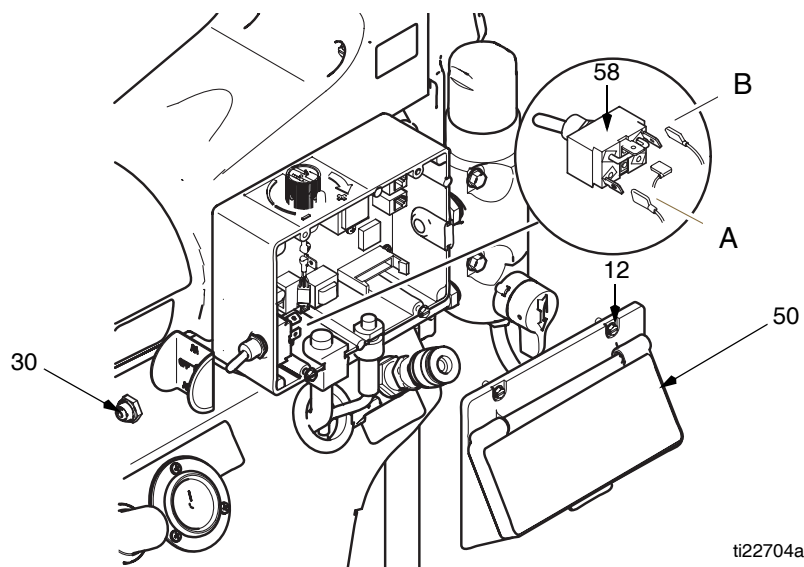
注意： 取り外す前にワイヤにラベルを付け、組み立てる際に見分けがつく事を確認してください。

4. ワイヤ (A) 3本をオン/オフ・スイッチ (58) から取り外します。
5. トグルブーツ / ナット (30) を外します (120V models only)。
6. オン/オフ・スイッチの黄色いワイヤ (B) 2本を取り外します。オン/オフ・スイッチを取り外します。

設置

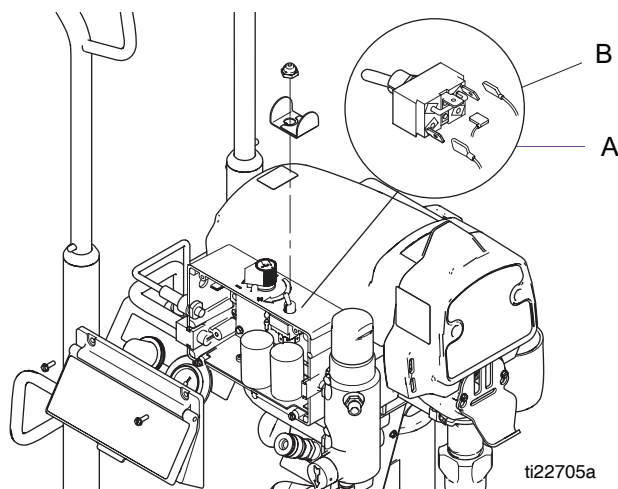
1. オン/オフ・スイッチ (58) に黄色いワイヤ (B) 2本を接続します。
2. 新しいオン/オフ・スイッチ (58) を設置します。トグルブーツ / ナット (30) を付けます。
3. オン/オフ・スイッチにワイヤ (A) 3本を接続します。
4. 圧力コントロールカバー (50) を4本のネジ (12) で設置します。

FinishPro II 395 (120V モデル)



ti22704a

FinishPro II 595

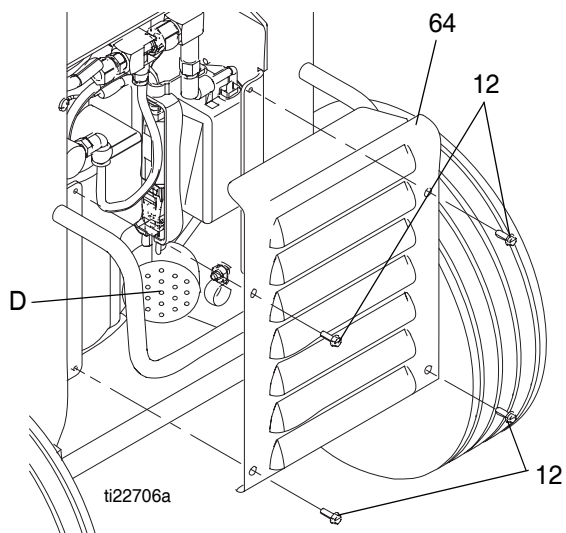


ti22705a

エアフィルタの取り外し及び設置



1. 後部のルーバカバー（64）のネジ（12）4本を取り外してください。
2. スプレー装置の裏のフィルタ（D）のネジを外してください。Compressor Filter Kit 288724 の新しいフィルタを設置してください。
3. 後部カバー（64）をネジ（12）4本で締めて取り付けます。



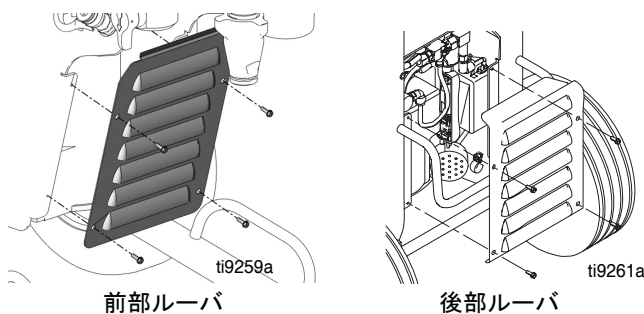
コンプレッサの交換と修理



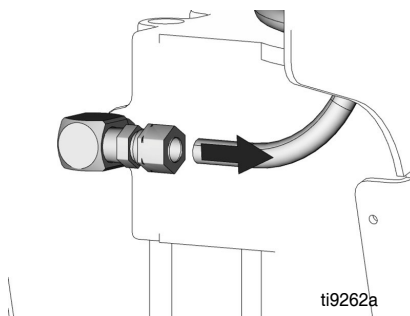
コンプレッサを修理するには、コンプレッサ整備キット 288723 を使用してください。付属の Thomas コンプレッサの説明書を参照してください。コンプレッサのピストンアセンブリを交換するには、キット 288723 を使用してください。

スプレーヤからのコンプレッサの取り外し

1. 圧力開放、11 ページを参照してください。電源コードをコンセントから抜きます。
2. スプレーヤから前部および後部ルーバを取り外します。



3. スプレーヤからツールボックスを取り外します。
4. スプレーヤ前部と後部からフレアレス管継ぎ手を取り外します。

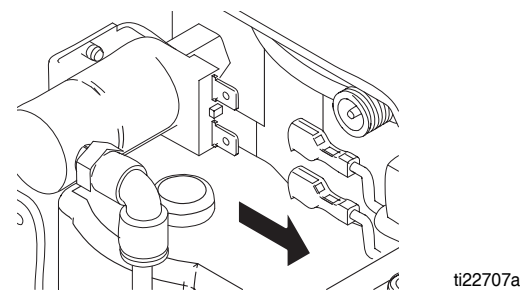


5. チューブを取り外します。

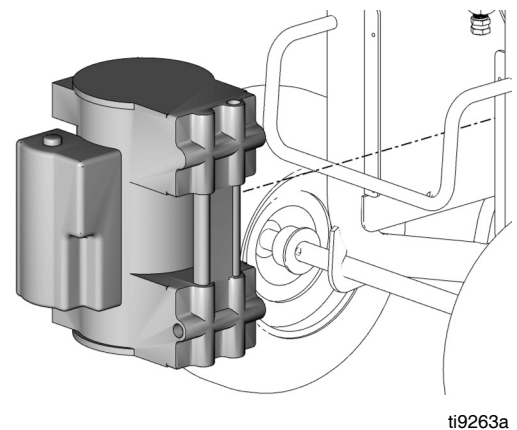
注

チューブへの損傷を防止するには、フレアレス管継ぎ手を先に取り外す必要があります。

6. ソレノイドバルブより電気接続を外します。



7. コンプレッサの後部からマフラーを取り外します。
8. 取り外されたツールボックスの下にある 4 つのネジをスプレーヤから取り外します。



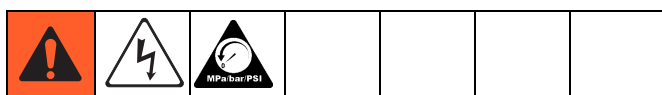
注：一番下のネジを先に取り外します。取り外すネジが残り 1 つになったら、コンプレッサが底から抜け落ちないように、それをしっかりと保持してください。

9. スプレーヤからコンプレッサを取り外します。
10. 電気の接続を外します。

モータコントロールボードの診断

注

トランスデューサの設置無しでスプレーに液体圧力を発生させないでください。検査用トランスデューサが使用されていたらドレインバルブは開けた状態にします。



- 新しいトランスデューサを検査用として手元に保管します。
 - 29 ページのデジタル表示メッセージをご参照ください。
1. 圧力開放手順、11 ページを参照してください。スプレー装置のプラグを抜きます。
 2. ネジおよびカバーを外します。
 3. オン/オフスイッチをオンにします。
 4. LED 操作と次の表を見ます。

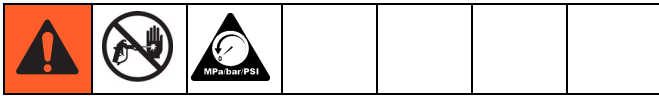
LED の点滅	スプレー装置の操作	意味	処置方法
1 回	スプレー装置が作動	通常の操作	何もしないでください
繰返し 2 回	スプレー装置が停止し LED の 2 回点滅が続きます	圧力の暴走。4500psi (310bar) 以上の圧力、あるいは圧カトランスデューサの破損	モータコントロールボードまたは圧カトランスデューサを交換します
繰返し 3 回	スプレー装置が停止し LED が繰返し 3 回の点滅を続けます	圧カトランスデューサが故障あるいは不在	トランスデューサの接続を調べます。ドレインバルブを開きます。新しいトランスデューサをスプレー装置のトランスデューサと替えてみます。スプレーが作動すれば、トランスデューサを交換します
繰返し 4 回	スプレー装置が停止し LED が繰返し 4 回の点滅を続けます	電源電圧が高すぎます	電圧供給の問題が無いかチェックします
繰返し 5 回	スプレー装置が始動しないか停止しており、LED は繰返し 5 回の点滅を続けます	モータの故障	ロックされたロータ、短絡した配線または切断されたモータがあるかを調べます。故障部品を修理するか交換します

デジタル表示メッセージ：FinishPro II 395

						
噴射の危険 表示が無くても、スプレーヤに圧力が加わっていない訳ではありません 修理前に減圧してください						

表示	スプレー装置の操作	意味します。	処置方法
何も表示されない	スプレーが停止します。電力は供給されていません。スプレーに圧力を加える必要があります。	電力の損失。	電源をチェックします。修理または分解前には圧力を開放してください。
3000 psi 210 bar 21 MPa	スプレー装置が加圧され、電源が接続されています（圧力はチップサイズおよび圧力制御設定により異なります）。	通常の操作。	噴霧。
E=02	スプレーは作動を続けるかもしれませんが。電力は供給されています。	4500psi (310bar、31MPa) 以上の圧力または損傷した圧力トランスデューサが損傷する圧力。	圧力コントロールボードまたは圧力トランスデューサを交換します。
E=03	スプレーが停止します。電源には通じています。	圧力トランスデューサの不具合、配線不良またはワイヤの破損。	トランスデューサの接続を調べます。ドレインバルブを開きます。新しいトランスデューサをスプレー内のトランスデューサと替えてみます。スプレーが作動すれば、トランスデューサを交換します。
E=04	スプレーが停止します。電源には通じています。	電源電圧が高すぎます。	電圧供給の問題が無いかチェックします。
E=05	スプレーが始動しないか停止しません。電力は供給されています。	モータの故障。	ロックされたロータ、短絡したワイヤリングまたは切断されたモータがあるか調べます。故障部品を修理するか交換します。
-----	電力が供給されています。	圧力は 200 psi (14 bar、1.4MPa) 以下です。	必要であれば圧力を上げます。ドレインバルブが開いていてもかまいません。
空	スプレーが停止します。電源には通じています。	塗料缶を空にします。圧力の損失。	塗料バケツを再び満たします。漏れまたはポンプの入り口の詰まりを調べます。起動の工程を繰り返します。

デジタル表示メッセージ：FinishPro II 595



注：トランスデューサの設置無しでスプレーに液体圧力を発生させないでください。検査用トランスデューサが使用されていたらドレインバルブは開けた状態にします。

- ・ テストで使用するために、新しいトランスデューサをご用意ください。
- ・ 表示が無くても、スプレーヤに圧力が加わっていない訳ではありません。修理の前に、圧力開放 (11 ページ) を実行します。

1. デジタル表示があるスプレーヤでは、デジタル表示メッセージを見ます。
2. ネジ (12) およびカバー (50) を取り外します。
3. ON/OFF スイッチ ON にします。
4. LED 操作と次の表を見ます。

ディスプレイ	スプレーヤの操作	意味	操作の選択
何も表示されません	スプレーヤが停止します。電力が供給されていません。スプレーヤは加圧される場合があります。	電力の損失	電源をチェックします。修理または分解前には圧力を開放してください。
MPa, bar (psi)	スプレーヤは加圧されています。電力が供給されています。(圧力は、チップサイズおよび圧力コントロール設定により異なります。)	通常の操作	何もしないでください。
E=02	スプレーヤは作動を続ける場合があります。電力が供給されています。	急激な圧力変化 31MPa (310bar, 4500psi) 以上の圧力または損傷した圧力トランスデューサ	モーターコントロールボードまたは圧力トランスデューサを交換します。
E=03	スプレーヤが停止し LED が繰返し 3 回瞬き続けます。電力が供給されています。	圧力トランスデューサが故障しているか紛失しています。	トランスデューサの接続をチェックします。ドレインバルブを開きます。新しいトランスデューサをスプレーヤ内のトランスデューサと替えてみます。スプレーヤが作動すれば、トランスデューサを交換します。
E=04	スプレーヤが停止し LED が繰返し 4 回瞬き続けます。電力が供給されています。	電源電圧が高すぎます。	電圧供給の問題が無いかチェックします。
E=05	スプレーヤが始動しないか停止して LED は繰返し 5 回瞬き続けます。電力が供給されています。	モーターの故障	ロックされたロータ、短絡したワイヤリングまたは切断されたモーターがあるか調べます。故障部品を修理するか交換します。
E=06	スプレーヤが停止し LED は繰返し 6 回瞬きます。電力が供給されています。	モーターが熱すぎるか、モーターの温度機器が障害を起こしています。	スプレーヤを冷まします。スプレーヤが冷えた状態で正しく作動するならば、モーターファンの機能と空気の流れを調べます。スプレーヤを涼しい場所に保管します。スプレーヤが寒い状態で作動せず 6 回瞬き続けたらモーターを交換します。
-----	電力が供給されています。	圧力は 1.4 MPa (14 bar, 200 psi) より低いです。	必要であれば圧力を上げます。ドレインバルブが開いていてもかまいません。
空	スプレーヤが停止します。電力が供給されています。	塗料缶を空にします。圧力の損失	塗料パケツを再び満たします。漏れまたはポンプの入り口の詰まりを調べます。起動の工程を繰り返します。
E=10	スプレーヤが始動しないか停止して LED は繰返し 10 回瞬き続けます。電力が供給されています。	コントロールボードの温度が高いです。	<ul style="list-style-type: none"> ・ モーターの吸気口が塞がれていないことを確認してください。 ・ コントロールボードがバックプレートに適切に接続され、導電性の暖かいペーストが入力電圧部品に対して使用されていること。

圧力制御トランスデューサ



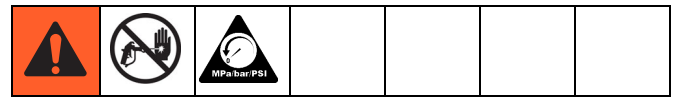
取り外し

1. 圧力開放手順、11 ページを参照してください。スプレー装置の電源を抜きます。
2. ネジおよびカバーを外します。
3. モータ制御ボードからリード線 (E) を切断します。
4. ネジ 2 本とフィルタハウジングを取り外します。
5. トランスデューサリード線のプラスチックのコネクタをトランスデューサの絶縁ゴムの中を下に向かって通す。
6. フィルタハウジングから、圧力コントロールトランスデューサおよびパッキン O リングを取り外します。

設置

1. フィルタハウジングにパッキン O リングおよび圧力制御トランスデューサを取り付けます。30 ~ 35 フィート・ポンドのトルクで締めます。
2. トランスデューサリード線のプラスチックのコネクタをトランスデューサ絶縁ゴムの中を上に向かって通す。
3. ネジ 2 本でフィルタハウジングを取り付けます。
4. リード線をモータコントロールボードに接続します。
5. ネジでカバーを取り付けます。

ポテンシオメータの圧力調整



取り外し

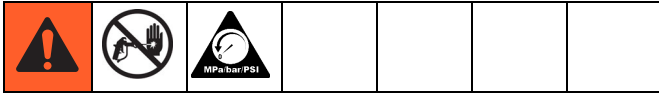
1. 圧力開放手順、11 ページを参照してください。スプレー装置の電源を抜きます。
2. ネジおよびカバーを外します。
3. モータコントロールボードからリード線全てを切断します。
4. ポテンシオメータのノブ、ナット、圧力調整ポテンシオメータを取り除きます。

設置

1. 圧力調整ポテンシオメータ、ナット、ポテンシオメータのノブを設置します。
 - a. ポテンシオメータを時計の針が回る方向に回します。
 - b. ノブを時計の針が回る方向に設置します。
2. モータボードのリード線全てを接続します。
3. ネジでカバーを取り付けます。

保存されたデータ

SmartControl には保存データがあり、トラブルシューティングと整備を補助します。保存データをデジタル表示で見る時は、次の指示に従ってください。



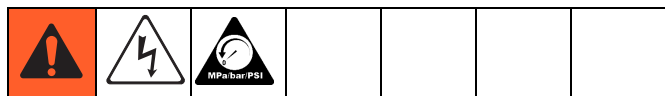
1. 圧力開放手順、11 ページを参照してください。
2. スプレーのプラグを入れます。
3. デジタル表示ボタンを押して、スプレー装置をオンにします。
4. スプレーをオンにした後で、表示ボタンを約 1 秒離します。

スプレー装置型番表示を 2、3 秒行くと、続いてデータポイント 1 が表示されます。

5. 表示ボタンを押すと、次にデータポイントが表示されます。
6. 保存されたデータのモードのままにする為には、スプレーをオフにして、次にオンにします。

データポイント	定義
1	電源スイッチがオンで電力供給がされた時間数
2	モータの作動時間数
3	すぐ前に出たエラーコード。表示ボタンを押した状態でエラーコードを E=00 にクリアします。
4	ソフトウェアの更新

排液バルブの交換



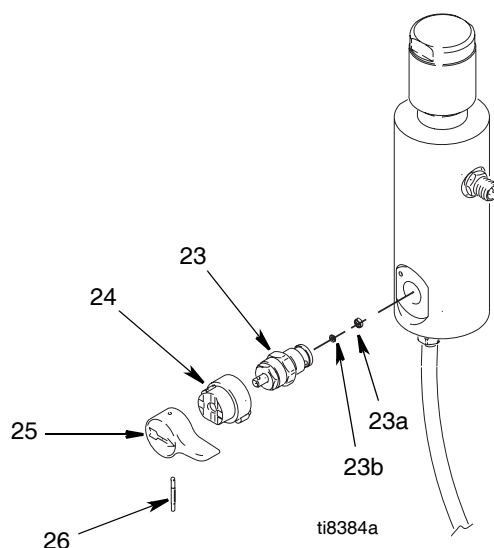
取り外し

1. 圧力開放手順、11 ページを参照してください。電源コードをコンセントから抜きます。
2. 穴開け器とハンマーを使い、ピン (26) を排液ハンドル (25) から引き出します。
3. 排液ハンドル (25) とベース (24) を排液バルブ (23) から引き離します。
4. レンチを使い、排液バルブ (23) を緩めマニホールド (15) から取り外します。

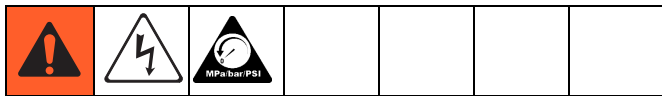
設置

注：新しい排液バルブを取り付ける前に、古いガスケット (23a) とシート (23b) がすでにマニホールドの中に残っていないことを確認します。

1. 排液バルブ (23) にマニホールド (15) の開口部を貫かせます。
2. 手でしっかりと締めます。レンチを使い、120 から 130 インチ・ポンドのトルクを与えます。
3. ベース (24) を排液バルブ (23) に押し込み、続いて排液ハンドル (24) をベース (24) に押し込みます。
4. 排液ハンドル (25) のピン (26) を交換します。必要であれば、所定の位置の完全に押し込むまでハンマーを使います。

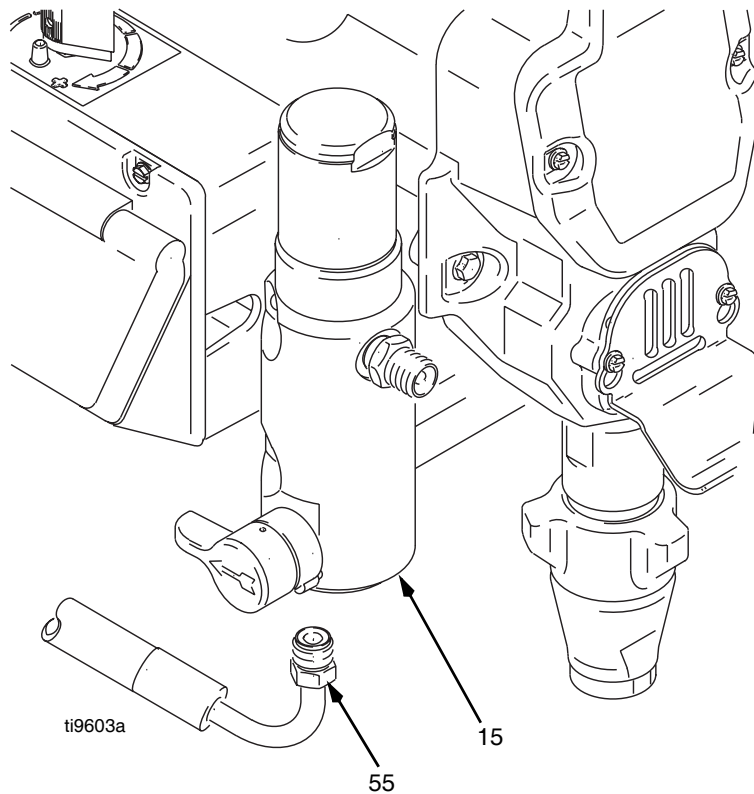


排液ライン取り除き／交換



取り外し：排液ライン（55）のネジを外してフィルタマニホルド（15）から外します。

設置：排液ライン（55）のネジを締めて フィルタマニホルド（15）に取り付けます。



モータの交換

FinishPro II 395

配線図、36 ページを参照してください。



注

ドライブハウジング (42) 取り外し中にギヤクラスタ (44) と (40) を落とさないでください。ギヤクラスタはモータ前面終端ベル (R) またはドライブハウジングに取り付けられた状態で問題はありません。

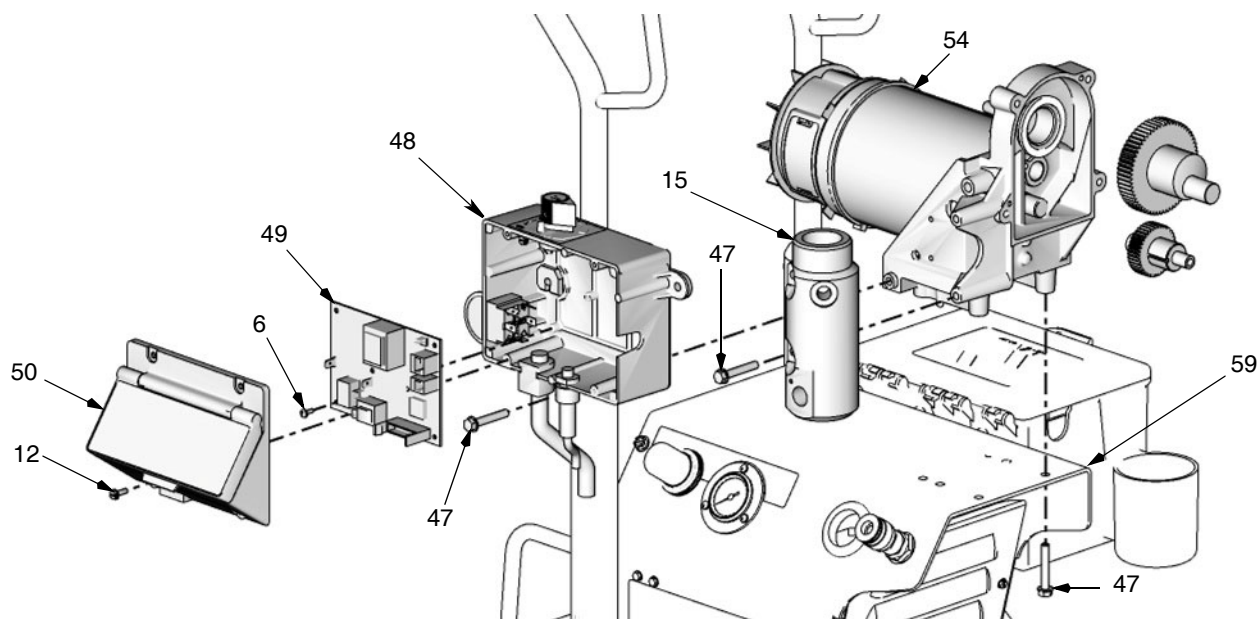
取り外し

1. 電源を切断します。
2. 圧力開放手順、11 ページを参照してください。
3. ポンプ (41) を外します。置換えポンプの交換、18 ページを参照してください。
4. ドライブハウジング (42) ; ドライブハウジングの交換、20 ページを参照してください。
5. ネジ (12) をカバー (50) から外します。

6. ボード (49) から全てのリード線を切断します。ネジ (6) とボードを取り除きます。
7. ネジ (47) とコントロールボックス (48) を外します。
8. ネジ (47) とマニホールド (15) 取り除きます。
9. ネジ (47) とモータ (54) をフレーム (59) から外します。

設置

1. 新しいモータ (54) をフレーム (59) にネジ (47) で設置します。
2. マニホールド (15) をネジ (47) で設置します。
3. ネジ (48) でコントロールハウジング (47) を取り付けます。
4. ボード (49) をネジ (6) で設置します。全てのリード線をボードに接続します。36 ページにある配線図でスプレー装置の型番について参照してください。
5. ドライブハウジング (42) ドライブハウジングの交換、20 ページを参照してください。
6. ポンプ (41) を設置します。置換えポンプ交換、18 ページを参照してください。

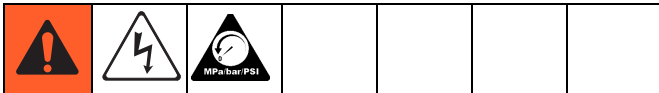


ti9605a

モーターの交換

FinishPro II 595

配線図、36 ページを参照してください。



注

ドライブハウジング (42) 取り外し中にギヤクラスタ (44) と (40) を落とさないでください。ギヤクラスタはモーター前面終端ベル (R) またはドライブハウジングに取り付けられた状態で問題はありません。

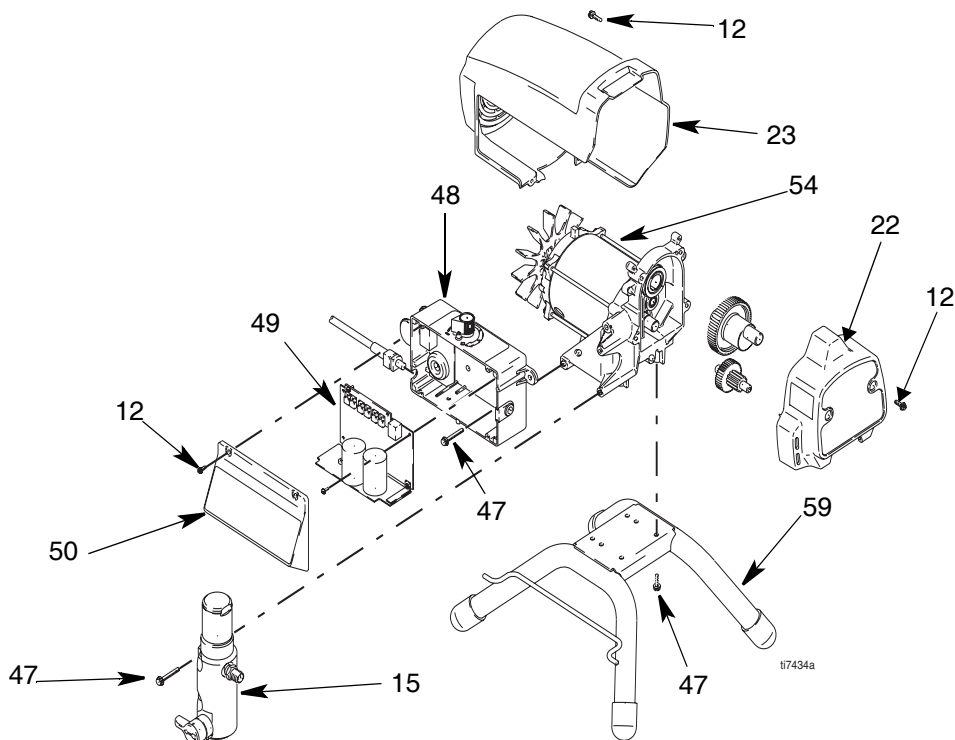
取り外し

1. 電源を切断します。
2. **圧力開放** (11 ページ) を実行します。
3. 4 本のネジ (12) とモーターシュラウド (23) を取り外します。
4. 2 本のネジ (12) およびフロントカバー (22) を取り外します。
5. ポンプ (41) を取り外します。置換ポンプの交換 (18 ページ)。
6. 駆動ハウジング (42) を取り除きます。駆動ハウジングの交換 (20 ページ)。

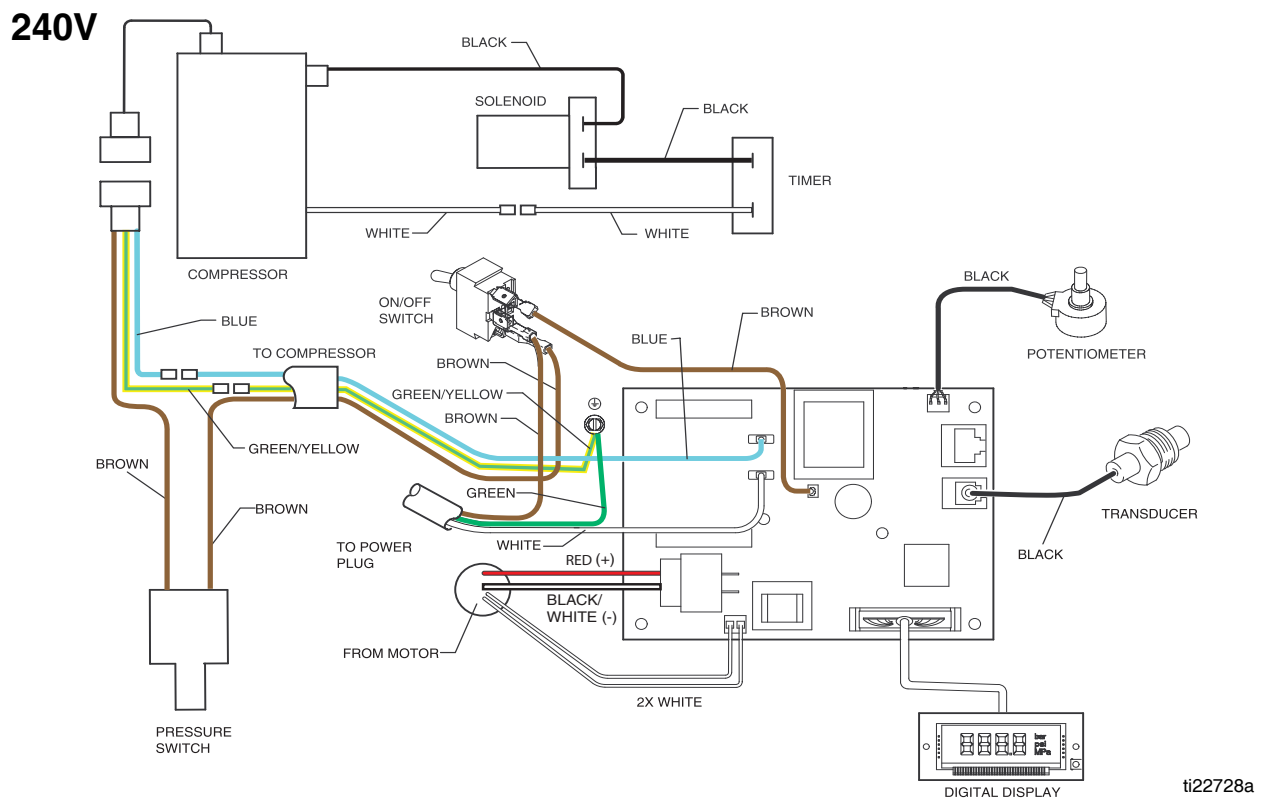
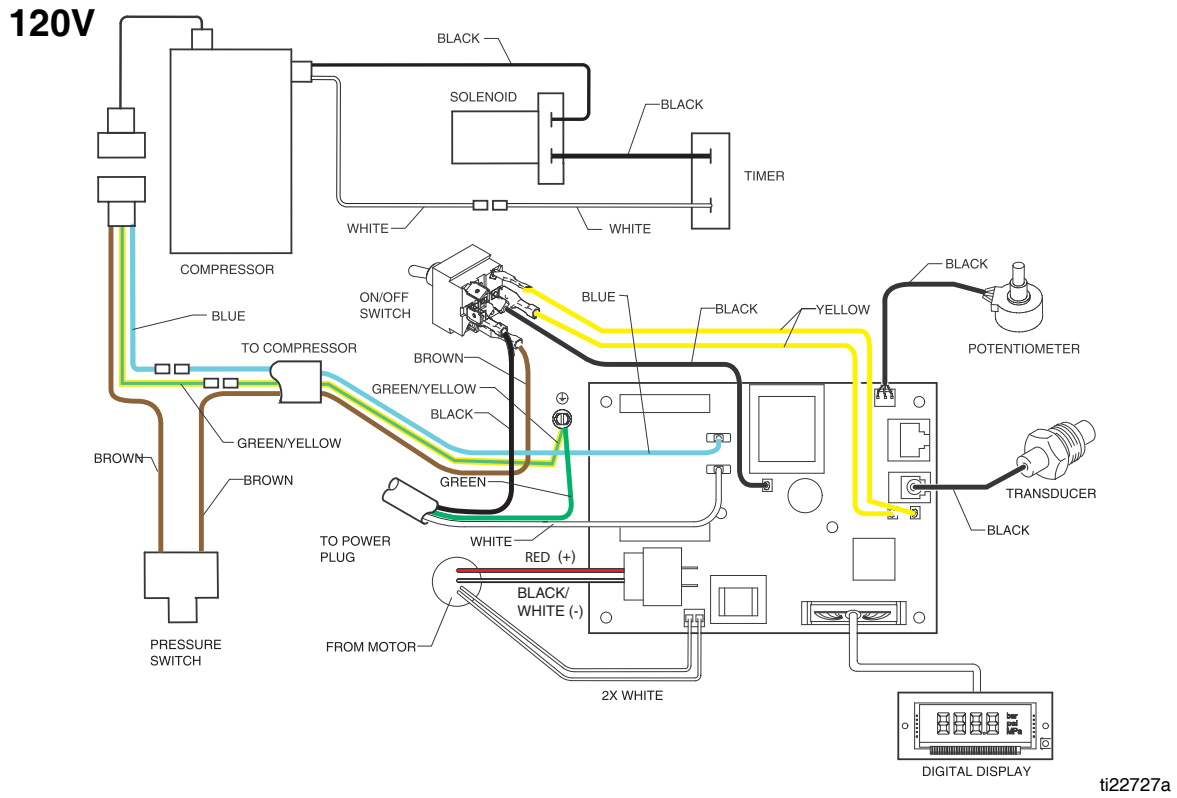
7. モーターのリード線の接続を外します。
8. ネジ (47) およびマニホールド (15) を取り外します。
9. ネジ (47) およびコントロールボックス (48) を取り外します。
10. ネジ (47) とモーター (54) をフレーム (59) から取り外します。

設置

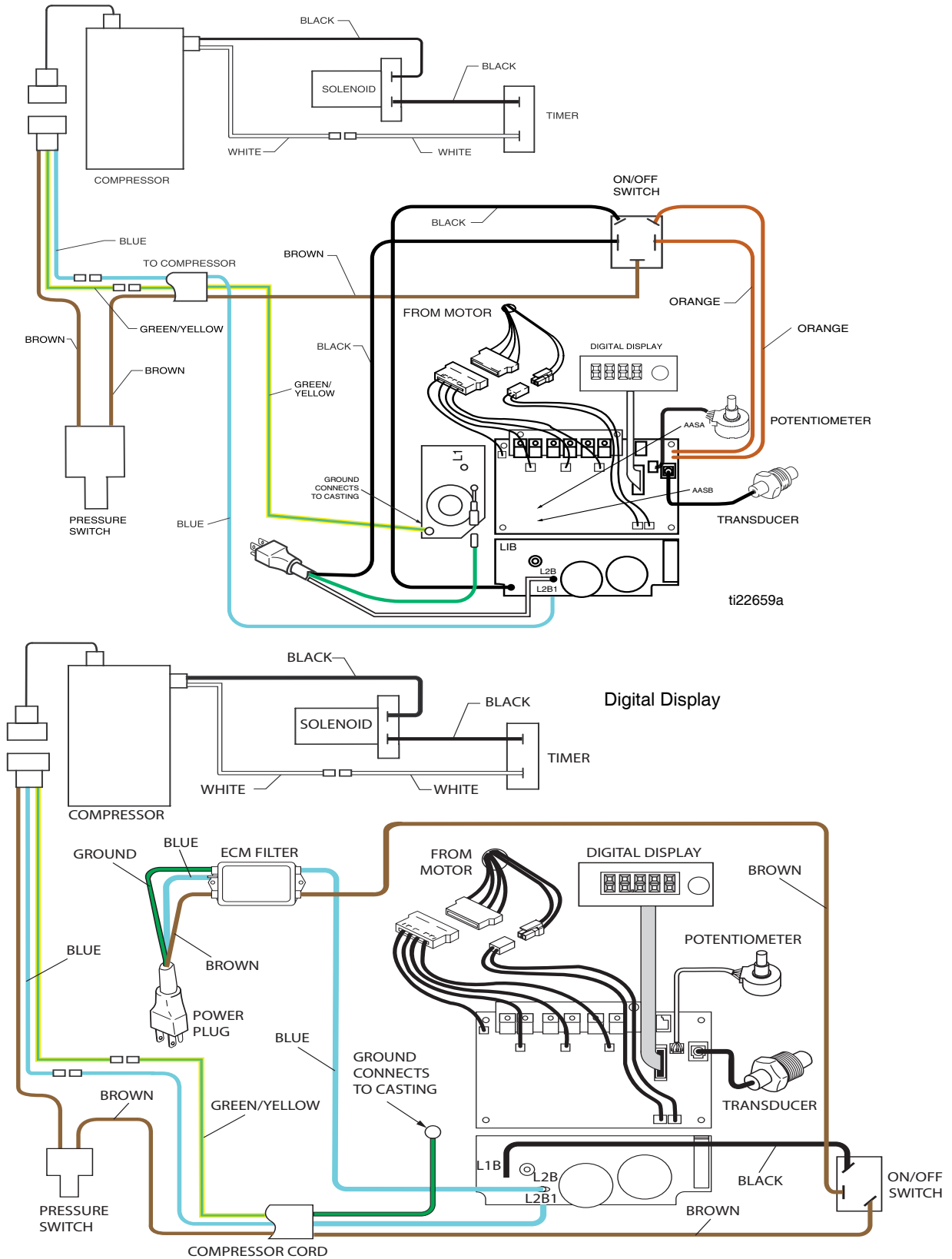
1. モーター (54) をフレーム (59) にネジ (47) で取り付けます。
2. コントロールハウジング (48) をネジ (47) で取り付けます。
3. マニホールド (15) をネジ (47) で取り付けます。
4. モーターのリード線を接続します。36 ページの配線図を参照してください。
5. 駆動ハウジング (42) を取り付けます。駆動ハウジングの交換 (20 ページ)。
6. ポンプ (41) を取り付けます。置換ポンプの交換 (18 ページ)。
7. フロントカバー (22) およびネジ (12) を交換します。ネジをしっかりと締めます。
8. モーターシュラウド (23) と ネジ (12) を交換します。ネジをしっかりと締めます。



配線図 (395 モデル)



配線図 (595 モデル)



技術データ

Finish Pro II 395 スプレーヤ		
	米国	メートル法
スプレーヤ		
電力仕様	★100/120V AC、50/60 Hz、15A、単相	◆ 230V AC、50/60 Hz、10A、単相
最大チップサイズ		
米国 ★ / 英国 ★	0.021	0.021
ヨーロッパ ◆ / アジア / オーストラリア ◆	0.023	0.023
最大マテリアル・アウトプット gpm (lpm)		
米国 ★ / 英国 ★	.47 gpm	1.8 lpm
ヨーロッパ ◆ / アジア / オーストラリア ◆	.54 gpm	2.0 lpm
最大マテリアル圧力 - エアレス		
米国 ★	3300 インチ	227 bar
英国 ★	2800 インチ	193 bar
ヨーロッパ ◆ / アジア / オーストラリア ◆	3300 インチ	227 bar
最大マテリアル圧力 - AA		
米国 ★ / 英国 ★	2800 インチ	193 bar
ヨーロッパ ◆ / アジア / オーストラリア ◆	3300 インチ	227 bar
空気アウトプットを自動化		
米国 ★ / 英国 ★	3.2 cfm	3.2 cfm
ヨーロッパ / アジア / オーストラリア	2.9 cfm	2.9 cfm
エア圧力	35 psi	2.4 bar
フレーム	Hi-boy	Hi-boy
寸法		
長さ	32.5 インチ	82.5 cm
幅	21 インチ	53.3 cm
高さ	40.5 インチ	102.8 cm
重量 (本体のみ)	110 ポンド	49.9 kg
ポンプ・モーター		
ポンプ・モーター	TEFC 7/8 HP DC	TEFC 7/8 HP DC
圧縮機モーター	1.0 HP AC 誘導	1.0 HP AC 誘導
マテリアル・ホース	1/4 インチ x 50-フィート (青色)	1/4 インチ x 15.2 m (青色)
エアホース	3/8 インチ x 50-フィート (透明)	3/8 インチ x 15.2-フィート (透明)
ガン	G40 w RAC X チップ	G40 w RAC X チップ
接液部品	亜鉛メッキ炭素鋼、ナイロン、ステンレス鋼、PTFE、アセタール、クロームメッキ、レザール、UHMWPE、アルミニウム、タングステンカーバイド	

Finish Pro II 595 スプレーヤ		
	米国	メートル法
スプレーヤ		
電力仕様	★100/120V AC、50/60 Hz、15A、単相	◆ 230V AC、50/60 Hz、10A、単相
最大チップサイズ		
ヨーロッパ◆ / アジア / オーストラリア◆	0.027	0.027
最大マテリアル・アウトプット gpm (lpm)		
米国★ / 英国★	.68 gpm	2.5 lpm
ヨーロッパ◆ / アジア / オーストラリア◆	.68 gpm	2.5 lpm
最大マテリアル圧力 - エアレス		
米国★	3300 psi	227 bar
英国★	2800 psi	193 bar
ヨーロッパ◆ / アジア / オーストラリア◆	3300 psi	227 bar
最大マテリアル圧力 - AA		
米国★ / 英国★	2800 psi	193 bar
ヨーロッパ◆ / アジア / オーストラリア◆	3300 psi	227 bar
空気アウトプットを自動化		
米国★ / 英国★	3.2 cfm	3.2 cfm
ヨーロッパ / アジア / オーストラリア	2.9 cfm	2.9 cfm
エア圧力	35 psi	2.4 bar
フレーム	Hi-boy	Hi-boy
寸法		
長さ	32.5 インチ	82.5 cm
幅	21 インチ	53.3 cm
高さ	40.5 インチ	102.8 cm
重量 (本体のみ)	112 ポンド	50.8 kg
ポンプ・モーター	TEFC 7/8 HP DC	9110 馬力 (ブラシレス)
圧縮機モーター	1.0 HP AC 誘導	1.0 HP AC 誘導
マテリアル・ホース	1/4 インチ x 50-フィート (青色)	1/4 インチ x 15.2 m (青色)
エアホース	3/8 インチ x 50-フィート (透明)	3/8 インチ x 15.2-フィート (透明)
ガン	G40 w RAC X チップ	G40 w RAC X チップ
接液部品	亜鉛メッキ炭素鋼、ナイロン、ステンレス鋼、PTFE、アセタール、クロームメッキ、レザー、UHMWPE、アルミニウム、タングステンカーバイド	

Graco Standard Warranty

Graco warrants all equipment referenced in this document which is manufactured by Graco and bearing its name to be free from defects in material and workmanship on the date of sale to the original purchaser for use. With the exception of any special, extended, or limited warranty published by Graco, Graco will, for a period of twelve months from the date of sale, repair or replace any part of the equipment determined by Graco to be defective. This warranty applies only when the equipment is installed, operated and maintained in accordance with Graco's written recommendations.

This warranty does not cover, and Graco shall not be liable for general wear and tear, or any malfunction, damage or wear caused by faulty installation, misapplication, abrasion, corrosion, inadequate or improper maintenance, negligence, accident, tampering, or substitution of non-Graco component parts. Nor shall Graco be liable for malfunction, damage or wear caused by the incompatibility of Graco equipment with structures, accessories, equipment or materials not supplied by Graco, or the improper design, manufacture, installation, operation or maintenance of structures, accessories, equipment or materials not supplied by Graco.

This warranty is conditioned upon the prepaid return of the equipment claimed to be defective to an authorized Graco distributor for verification of the claimed defect. If the claimed defect is verified, Graco will repair or replace free of charge any defective parts. The equipment will be returned to the original purchaser transportation prepaid. If inspection of the equipment does not disclose any defect in material or workmanship, repairs will be made at a reasonable charge, which charges may include the costs of parts, labor, and transportation.

THIS WARRANTY IS EXCLUSIVE, AND IS IN LIEU OF ANY OTHER WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR WARRANTY OF FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

Graco's sole obligation and buyer's sole remedy for any breach of warranty shall be as set forth above. The buyer agrees that no other remedy (including, but not limited to, incidental or consequential damages for lost profits, lost sales, injury to person or property, or any other incidental or consequential loss) shall be available. Any action for breach of warranty must be brought within two (2) years of the date of sale.

GRACO MAKES NO WARRANTY, AND DISCLAIMS ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, IN CONNECTION WITH ACCESSORIES, EQUIPMENT, MATERIALS OR COMPONENTS SOLD BUT NOT MANUFACTURED BY GRACO. These items sold, but not manufactured by Graco (such as electric motors, switches, hose, etc.), are subject to the warranty, if any, of their manufacturer. Graco will provide purchaser with reasonable assistance in making any claim for breach of these warranties.

In no event will Graco be liable for indirect, incidental, special or consequential damages resulting from Graco supplying equipment hereunder, or the furnishing, performance, or use of any products or other goods sold hereto, whether due to a breach of contract, breach of warranty, the negligence of Graco, or otherwise.

Graco Information

For the latest information about Graco products, visit www.graco.com.

For patent information, see www.graco.com/patents.

TO PLACE AN ORDER, contact your Graco distributor or call 1-800-690-2894 to identify the nearest distributor.

All written and visual data contained in this document reflects the latest product information available at the time of publication. Graco reserves the right to make changes at any time without notice.

取扱説明書原文の翻訳。This manual contains Japanese. MM 333126

Graco Headquarters: Minneapolis

International Offices: Belgium, China, Japan, Korea

GRACO INC. AND SUBSIDIARIES · P.O. BOX 1441 · MINNEAPOLIS MN 55440-1441 · USA

Copyright 2014, Graco Inc. All Graco manufacturing locations are registered to ISO 9001.

www.graco.com

Revision A - 2014